

からだところの相談（メンタルヘルス相談）実施状況

からだところの相談（受付時間）平日8時30分～17時

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2	4	2	4	1	7	6	7	15	7	9	11	2	75
R3	4	2	6	8	4	1	2	8	11	7	5	9	67
男性	1	0	1	0	0	1	1	3	4	0	2	2	15
女性	3	2	5	8	4	0	1	5	7	7	3	7	52

● 年代別、相談原因別【男性】

	家庭	健康・病気	経済・生活	事業・勤務	男女	学校	その他	計
10歳代								
20歳代		2						2
30歳代								
40歳代		2	1					3
50歳代		1						1
60歳代		1						1
70歳代		3						3
80歳以上								
不明	2	1			2			5
計	2	10	1		2			15

● 年代別、相談原因別【女性】

	家庭	健康・病気	経済・生活	事業・勤務	男女	学校	その他	計
10歳代	1							1
20歳代	2	1						3
30歳代	1	4		1				6
40歳代	2	3						5
50歳代		7						7
60歳代		1					1	2
70歳代	5	2						7
80歳以上		1						1
不明	2	17		1			1	21
計	13	36		2			2	53

（その他）：人間関係、介護への不安、子育て等

※1人で多岐にわたる相談等が含まれるため合計数は一致しない場合がある。

※健康・病気にはこころの悩み・不安を含む。

● 主な相談内容と対応（要旨）

- ・【女性】両親を亡くしたショックで退職。将来にも不安が多く話を聞いてほしい。4～8月計12回入電。→初回で精神科受診をすすめ受診開始。その後は話を聞いてほしいという訴えなので傾聴。
- ・【40代男性】市外のグループホーム入所中。自立支援医療が切れて訪問看護が来なくなった。→事業所へ連絡。事業所の方で対応しているのでこちらの対応は不要とのこと。
- ・【20代女性】大学へ行っているが、コロナ禍でやりたいことができず、またリモート授業で家にいるのだが、母親とけんかばかりしてしまう。→傾聴。学内もふくめ相談窓口紹介。
- ・【女性】子どもへの介入方法や、仕事の忙しさもあり、判断力が鈍り仕事や家事がうまくいかず眠れなくなった。精神科へいくが「病気じゃなくただの心配症」と言われた。同じ境遇の人が集まったグループはないか→通院の継続と、相談先としてカウンセリング・女性相談を紹介した。
- ・【60代男性】来館相談。眼瞼・顔面痙攣が治らず仕事がうまくできない状況で辛い。どうやって自死をしようか考えている。→受診が可能な医療機関を伝える。フォローについては拒否的で、継続的支援が難しい状況。
- ・【10代女性の姉】市外に住む姉より相談。精神疾患のある母と2人暮らし。母が暴れると妹に影響があるので、母が適切な治療を受け危害が加わらないようにしてほしい。→緊急時は警察へ。子家へ通告。子家も昔かかわり保護を受けたこともあるケース。現在は本人が保護は拒否している。
- ・【20代男性】精神疾患あり。両親にお金をかけてもらったのに無駄にした。資本主義に対する不満や怒り、以前冤罪で捕まったことがある恨みなど脈絡なく話す。→傾聴。不調が続くときはかかりつけ医に相談や、訪問看護などの活用もすすめる。
- ・【30代女性】子宮内膜症の診察で年齢的なことを引き合いに出され心が傷ついた。病院に対する否定的な思いと今後の受診に向けての相談で、後日面談する。家族の協力があるケースだが、専門家（保健師）との同行受診を強く希望される。→傾聴し、家族との同行受診のメリット、地域連携室の活用、受診時に手紙を事前に情報として看護師に渡しておくなどの方法を説明。
- ・【20代女性】勤務先から通報。体調不良からの無断欠勤が続き、管理会社へ連絡したのち警察と管理人で自宅へ入る。本人と会えたが様子がおかしかった（うつ状態）。その後また連絡がとれない→見守り安否確認として訪問。インターフォン越しに応答あるが元気はない。生存確認はできたが、今後も定期的に連絡し見守る。
- ・【40代女性】同居の母（70代）より相談。もともと精神疾患あり学生時代から不登校。昨日くらいから部屋にこもり「死にたい」とメールをしてきたり、包丁を持ち出そうとした。どうすればよいか。→まず主治医に相談し早急な受診を。その後母だけで相談に行くことになる（兄が本人見守り）。受診先の地域連携室に連絡し、母が向かう旨と相談内容を共有。受診後にも連絡。今後のこともふまえ関係機関に相談するよう勧める。
- ・【10代女性】中学生の娘について母より相談。学校のイベント練習など人が多くいると苦しくなり見学したりしている。受験でサイクルが崩れている。学校が嫌ということではない。1.6歳健診後に療育に行っていたこともある。→傾聴。思春期外来紹介。
- ・【40代男性】来館相談。精神疾患あり、前住居地で生活保護をうけており、今回仕事を紹介され立川市に引っ越してきた。いじめなどがありすぐに退職。短時間からゆっくりと働きたい。→障害福祉課で発行している案内で相談先を紹介。近くの地域活動支援センターへ自身で相談へ行く。